

はやま住民福祉センターだより

今月のテーマ

100歳まであと何年?? ~人生100歳時代の設計図~

葉山町長が、9月に町内在住の100歳以上の方、26人(男性3人、女性23人)を表敬訪問したそうです。神奈川県でも、健康寿命が延びる中で、県民の皆様一人ひとりが100歳をひとつのゴールとして、そこから逆算して人生の設計図を描いていくことが大事になると考え、「人生100歳時代の設計図」というテーマを問題提起しています。

神奈川の「未病を改善する」取組み

現在100歳以上の人口は、全国で6万5千人を超え、2050年には約70万人に達すると推計されています。また、神奈川県は全国一、二を争うスピードで高齢化が進むとされており、医療や介護を要する人が急増するおそれがあります。

こうした中、神奈川県では、「未病を改善する」取組みを進め、心身の状態を「健康か病気か」といった明確に二つに分けられるものとしてとらえるのではなく、健康と病気の間で常に連続的に変化するものとしてとらえながら、「食」「運動」「社会参加」の見直しによって、人々の健康を維持し、より良い状態にして、健康寿命を延ばそうとする取組みを進めています。その結果として、元気な高齢者が増え、若者や現役世代にとっても、元気に生活できる期間が延びることにつながる仕組みづくりをすすめています。

「人生100歳時代の設計図」80歳、90歳、その時、何をしていますか？

健康寿命が延び、人生100歳時代を迎える中、一人ひとりがそのことを念頭において、人生の設計図を描くとともに、それを支える働き方や学び方など、社会のあり方を見直していくことが必要です。また、高齢者に留まらず、若い世代の方々も「人生100歳時代」のライフプランを考え、「生きがい」を持って社会に参加する地域づくりを進めていくことが大切です。葉山町社会福祉協議会では、葉山町の皆様と一緒に「人生100歳時代」にふさわしい、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向けて、これからも共に考えて推進していきたいと思えます。「人生100歳時代の設計図」あなたならどう描きますか？

引用：神奈川県ホームページ

年末たすけあい運動助成事業 ~一般助成が決定しました~

今年の12月から募金運動を開始する、年末たすけあい募金の財源を活用した、葉山町民のために行う令和5年度事業を募集し、9月30日にプレゼンテーション審査会を開催しました。今年は6団体より応募があり、3団体の助成を決定させていただきました。一般助成(上限40万円)をはじめ、地域福祉活動団体への小規模助成(上限4万円)、葉山町社協で行う事業(介護用品支給事業など)など、すべて事業費として有効に活用させていただきます。

令和5年度事業 一般助成団体と内容

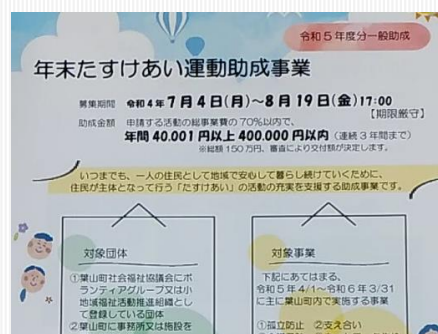
○葉山の自然・海でウェルネスライフをつくる会・・・400,000円
(木古庭の里山と葉山の里海で、身体を動かし心身ともに健康になる活動)
※ホームページは準備中のため紹介ページ



○葉山町体育協会・・・180,000円
(万歩計・スマホを活用した、シニアの交流と健康維持を目的としたプロジェクト)



○星とおひさま葉山里山の学校・・・139,000円
(上山口の里山で、多様な特性を持つ子どもたちの自然や馬とのふれあい、専門性の高い講師による親子の学び)



不登校・ひきこもりの家族会 葉山 ゆずり葉の会

それぞれの経験や想いを語り合い、不登校・ひきこもりの”今”と”その先”を一緒に考えませんか？
毎月開催：11/22(火)・12/22(木)

10:00~12:00不登校

13:30~15:30ひきこもり

会場：葉山町社協2階会議室

<https://yuzuriha.jimdosite.com/>